特定健診とがん検診の同時実施について

広報部鳥　けんぽん
©2018　協会けんぽ大阪支部

全国健康保険協会 大阪支部
協会けんぽ

目　次

■ ①　健診実施状況の推移・・・Ｐ２

■ ②　令和元年度 特定健診実施状況【参考】・・・Ｐ３

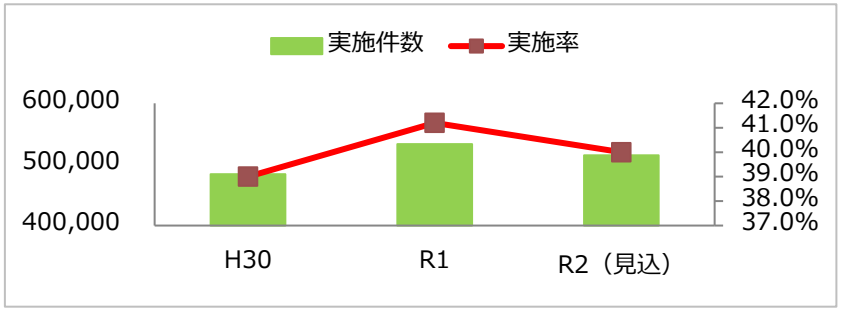
■ ③　令和３年度 特定健診・がん検診同時実施概要・・Ｐ４

■ ④　大阪府民の健康づくりに向けて・・・Ｐ６

① 健診実施状況の推移

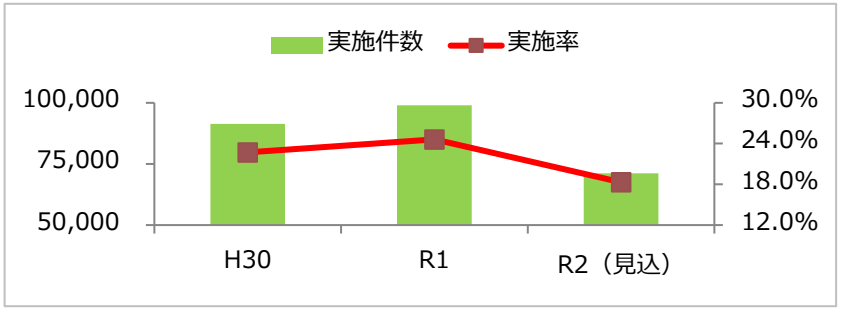
『生活習慣病予防健診』（被保険者 40歳～74歳）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
実施件数	484,022件	533,198件	515,325件
実施率	39.0%	41.2%	39.3%



『特定健診』（被扶養者 40歳～74歳）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
実施件数	91,354	98,952	71,200件
実施率	22.7%	24.6%	18.3%



※令和2年の実施件数・実施率はR3.5.17時点での速報値であり確定値ではないことに留意

【被保険者】
〇年度当初（４～5月）に健診機関での生活習慣病予防健診の実施を一時中止とした影響もあり、対前年で僅かに減少したが、事業者健診結果データの取得分を含めると件数は**ほぼ前年並みに推移。**

【被扶養者】
〇新型コロナにより、令和2年度協会主催の集団健診を中止の影響等も大きく、対前年で**28,000件程度の減少（対前年72%）**の見込み。

② 令和元年度 特定健診実施状況【参考】

『受診率における集団健診の割合』

協会けんぽ「健診・保健指導カルテ」より抜粋

	■被扶養者												
	特定健診受診率(%)		受入体制					居住地					
			集団健診受診率(%)			集団健診受診割合(%)		支部内居住者受診率(%)			支部外居住者受診率(%)		
	偏差値	指標数値	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標数値	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度
大阪	48	24.6	52	9.9	+1.6	53	40.5	48	24.4	-0.6	49	21.8	-0.1
全国	50	25.5	50	8.4	-	50	32.8	50	25.3	-	50	21.9	-

集団健診のメリット

- ✓ 特定健診の費用無料
- ✓ がん検診と同時実施あり
- ✓ プラスアルファの検査あり etc

〇受診率は全国平均を0.9ポイント下回っているが、
集団健診での受診率は1.5ポイント、受診割合は7.7ポイント上回っている。

集団健診のニーズが全国に比べ多い！

『人口規模別受診状況』

	■被扶養者																						
	特定健診受診率(%)		人口規模等																				
			特別区または政令指定都市			市部												町村部					
						30万人以上			10万人以上30万人未満			3万人以上10万人未満			3万人未満			1万人以上			1万人未満		
	偏差値	指標数値	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度
大阪	48	24.6	44	21.3	-0.6	55	26.5	+0.4	55	26.6	+0.6	48	24.1	-0.1	-	-	-	49	25.0	-0.0	50	24.5	-0.0
全国	50	25.5	50	23.4	-	50	24.3	-	50	24.2	-	50	25.3	-	50	23.4	-	50	25.5	-	50	24.7	-

(※)偏差値　：全国を50とした場合における、大阪支部の指標数値の偏差値を示す
(※)指標数値：各項目の結果(値)を示す。
(※)影響度　：偏差値50からの差分が支部の健診受診率に与える影響を示す。

③ 令和３年度 特定健診・がん検診同時実施概要

『令和3年度に向けた課題・検討』

〇コロナ禍においては、健診（検診）を受ける時期や受け方など、対象者がより受診しやすいように多様性ある受診機会の提供が必要である。

〇広報内容を地域ごとに集約することで申込への動機付け、行動変容を促す必要がある。

『具体的な変更点』

内容	これまでの連携・実施方法	令和3年度概要
①同時実施方法	集団のみ	集団 or **施設** **いずれか（双方）で連携可**
②広報関係	大阪府内対象者へ一律案内 （広報物は１種類）	**連携自治体の地域ごとに** それぞれ広報物を作成、案内 A 集団＋施設　B 集団　C 施設 ※**施設については、特定健診委託機関とがん検診委託機関リストの一元化**を予定

『連携自治体のご担当者様へのお願い』

〇各種広報物については、提供いただいた情報（集団健診の概要やがん検診委託機関リストなど）を元に協会けんぽで製作しますが、内容に相違などがないか、校正、確認をお願いします。

『令和3年度 特定健診・がん検診同時実施計画

通番	自治体名	連携内容	予定時期	予定回数	協会けんぽ対象者見込数
1	堺市	A 集団・施設	12月～2月	4	18,622
2	八尾市	A 集団・施設	2月	1	6,671
3	茨木市	A 集団・施設	11月～12月	6	4,690
4	富田林市	A 集団・施設	1月	1	2,655
5	泉大津市	A 集団・施設	10月～11月	2	1,860
6	柏原市	A 集団・施設	3月	1	1,601
7	四條畷市	A 集団・施設	1月～2月	2	1,320
8	高石市	A 集団・施設	12月～1月	2	1,242
9	田尻町	A 集団・施設	11月～2月	6	164
10	岸和田市	B 集団のみ	12月～3月	4	4,766
11	和泉市	B 集団のみ	10月～2月	3	4,712
12	松原市	B 集団のみ	2月	1	2,796
13	羽曳野市	B 集団のみ	1月	1	2,704
14	河内長野市	B 集団のみ	12月	1	2,230
15	大阪狭山市	B 集団のみ	3月	2	1,394
16	阪南市	B 集団のみ	12月～3月	2	1,120
17	熊取町	B 集団のみ	12月～2月	2	947
18	忠岡町	B 集団のみ	12月～3月	1	425
19	大阪市	C 施設のみ			52,087
20	東大阪市	C 施設のみ			12,221
21	枚方市	C 施設のみ			7,099
22	吹田市	C 施設のみ			6,001
23	高槻市	C 施設のみ			5,892
24	寝屋川市	C 施設のみ			4,850
25	大東市	C 施設のみ			3,040
26	泉佐野市	C 施設のみ			2,374
27	交野市	C 施設のみ			1,586
28	島本町	C 施設のみ			402

令和3年度は **計28地域** で
同時実施を予定

A 集団・施設双方で
同時実施予定： 9地域

B 集団で
同時実施予定： 9地域

C 施設で
同時実施予定： 10地域

※連携内容・時期などは各自治体からの報告内容をベースに作成（ R3.3時点 一部修正あり）
※対象者見込数はR2.6.25抽出データであるため参考値とする

④ 大阪府民の健康づくりに向けて

特定健診とがん検診の同時実施に向けて、協会けんぽ、各自治体双方の連携を推進することでそれぞれの受診率向上を目指す。
結果、生活習慣病予防や重大疾病の早期発見につなげ、

大阪府民の健康づくりを目指す

特定健診・がん検診同時実施効果

１日当たりの受診者数が
最大1.9倍に

協会けんぽと同時実施した日と同時実施していない日との比較では１日当たりの受診者数は最大1.9倍増加した。

（例）A市
同時実施しない日　59人/日
同時実施した日　115人/日
1.9倍

※大阪府「がん検診受診率向上モデル事例集」より抜粋

効果的な広報による受診促進効果

毎年受診することでがんの早期発見効果

連携地域ごとに集約した効果的な広報

協会けんぽから**同時実施連携地域の対象者へ地域の情報のみに集約したＤＭ**を送付。

がんの早期発見

例年特定健診の集団健診で約４万人が受診されており、**特定健診とがん検診を同時に受診出来る環境を拡大する**ことで、がんの早期発見につなげる。